

- 問1 16世紀にポルトガルやスペインの船が日本に来航し、南蛮貿易が活発化した歴史的背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. アメリカ合衆国の建国に伴い、太平洋を横断して捕鯨船の補給基地を確保する必要が生じたこと。 | 2. オスマン帝国の台頭により従来の地中海ルートが遮断され、ヨーロッパ諸国がアジアへの新航路を開拓したこと。 | 3. 産業革命によって大量生産された綿製品を販売するため、ヨーロッパ諸国が東アジアに市場を求めたこと。 | 4. モンゴル帝国の拡大によってシルクロードの安全が確保され、内陸経由での東西交流が容易になったこと。 |
|---|--|---|---|
- 問2 16世紀のドイツにおいて、修道士のルターがローマ教皇の権威を否定し、聖書を中心とする信仰を説く「宗教改革」を始める直接のきっかけとなった出来事を選択してください。 (2026年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. イタリアを中心に古代ギリシャやローマの古典文化を復興させようとする動きが広まったこと | 2. オスマン帝国がビザンツ帝国を滅ぼし、イスラム教の勢力が東ヨーロッパまで拡大したこと | 3. 十字軍の遠征が失敗に終わり、教皇の権威が失墜したことで人々の不満が高まったこと | 4. ローマ教皇がサン・ピエトロ大聖堂の改築費用を集めるために免罪符（贖宥状）を販売したこと |
|---|--|--|--|
- 問3 大航海時代の到来を支えた背景について、科学技術の発展に寄与した文化運動の名称と、当時のヨーロッパ諸国がアジアから獲得しようとした代表的な産物の組み合わせとして正しいものはどれか。 (2017年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------|-----------------|------------------|----------------|
| 1. 宗教改革 —— 綿花 | 2. ルネサンス —— 香辛料 | 3. 啓蒙思想 —— サトウキビ | 4. ルネサンス —— 小麦 |
|---------------|-----------------|------------------|----------------|
- 問4 16世紀末、全国統一を成し遂げた豊臣秀吉が、中国の王朝を征服しようとして2回にわたって朝鮮半島へ大軍を送った出来事を何と呼びますか。 (2020年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|------------|------------|-------|
| 1. 白村江の戦い | 2. 島原の天草一揆 | 3. 文禄・慶長の役 | 4. 元寇 |
|-----------|------------|------------|-------|
- 問5 戦国時代の動乱を収束させ、天下統一を目指した織田信長は、拠点として安土城を築きました。彼が経済を活性化させるために実施した、商人業者の独占権を廃止し、自由な商売を認めた政策は何ですか。 (2022年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-------------|---------|----------|
| 1. 楽市・楽座 | 2. 守護・地頭の設置 | 3. 太閤検地 | 4. 株仲間解散 |
|----------|-------------|---------|----------|
- 問6 近畿地方の大坂（現在の大阪府）を拠点として天下統一を成し遂げ、全国の田畑の面積や収穫量を調査する「太閤検地」や、農民から武器を没収する「刀狩」を行った人物は誰か。 (2025年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 豊臣秀吉 | 2. 足利義満 | 3. 徳川家康 | 4. 織田信長 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問7 戦国時代の有力な大名たちが、キリスト教の布教を許可してまで「南蛮人」と呼ばれたヨーロッパの人々との交流を推進した背景として、最も適切な理由はどれですか。 (2020年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|---------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------|
| 1. 仏教勢力を抑えるために、ヨーロッパの新しい思想を国教とするため | 2. 明から大量の銅銭を輸入し、国内の貨幣経済を安定させるため | 3. 日本独自の文化を広めるために、ヨーロッパを日本文化の輸出先とするため | 4. 鉄砲や火薬の原料となる硝石を輸入し、軍事力を強化するため |
|------------------------------------|---------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------|
- 問8 豊臣秀吉が全国で行った太閤検地において、それまで地域や領主ごとに異なっていた「ものさし」や「ます」などの単位を全国で統一し、土地の生産力を米の収穫量に換算して表す仕組みが整えられました。この仕組みを何といいますか。 (2020年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------|-------|-------|
| 1. 検地帳 | 2. 貫高 | 3. 年貢 | 4. 石高 |
|--------|-------|-------|-------|
- 問9 豊臣秀吉が宣教師の国外退去を命じた際、布教活動を禁じる一方で、ポルトガル人らとの「南蛮貿易」については継続を認めました。秀吉がこのように、宗教と貿易を切り離して対応しようとした背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 日本国内の仏教勢力を抑えるために、キリスト教の布教は制限したが、仏教徒が利用していた貿易ルートを確認したかったから。 | 2. 幕府が定めた鎖国体制を強化するために、まずは宣教師を排除してキリスト教の影響力を弱める必要があったから。 | 3. 宣教師が貿易の窓口となっていたため、国外追放をきっかけにオランダとの独占貿易に切り替えることを目的としたから。 | 4. キリスト教が広まることで日本人が団結し、一向一揆のような反乱が起きることを恐れたが、同時に西洋の優れた武器や物資を入手し続けたかったから。 |
|---|---|--|--|
- 問10 奈良時代、人口の増加に伴う食料不足を解消するため、新しく開墾した土地を永久に自分のものにすることを認めた法律を何といいますか。 (2017年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|----------|-----------|------------|
| 1. 班田収授の法 | 2. 地租改正法 | 3. 三世一身の法 | 4. 墾田永年私財法 |
|-----------|----------|-----------|------------|
- 問11 織田信長や豊臣秀吉が天下統一を目指した時代、大名や豪商の富を背景に栄えた、豪華で壮大な特色を持つ文化を何といいますか。 (2021年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 化政文化 | 2. 元禄文化 | 3. 東山文化 | 4. 桃山文化 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問12 16世紀後半、現在の愛知県にある小牧山城を拠点の一つとして天下統一を目指した織田信長が行った出来事の中で、室町幕府を実質的に滅亡させた事象はどれですか。 (2020年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------|------------------------------------|-----------------------------|---------------------------|
| 1. 第15代将軍の足利義昭を京都から追放した | 2. 諸大名に対して、一年おきに江戸と領地を往復する参勤交代を命じた | 3. バテレン追放令を出し、キリスト教の信仰を禁止した | 4. 九州の島津氏を降伏させ、西日本一帯を平定した |
|-------------------------|------------------------------------|-----------------------------|---------------------------|
- 問13 太閤検地において、豊臣秀吉が「升（ます）」の大きさを統一し、全国共通の基準で土地の生産力を米の量で表した仕組みを何といいますか。 (2023年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|--------------|--------------|--------------|
| 1. 地価（ちか）制度 | 2. 石高（こくだか）制 | 3. 貫高（かんだか）制 | 4. 班田（はんでん）制 |
|-------------|--------------|--------------|--------------|
- 問14 1543年、種子島に漂着した船に乗っていた商人が、日本に初めて鉄砲を伝えました。この商人の出身国はどこですか。 (2016年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|-------|---------|
| 1. スペイン | 2. ポルトガル | 3. 中国 | 4. オランダ |
|---------|----------|-------|---------|
- 問15 安土桃山時代の政策において、刀狩によって農民から武器を取り上げる一方、全国の土地の面積や収穫量を調査し、耕作者を確定させた政策は何と呼ばれますか。 (2023年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|------------|---------|---------|
| 1. 班田収授法 | 2. 墾田永年私財法 | 3. 太閤検地 | 4. 地租改正 |
|----------|------------|---------|---------|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 オスマン帝国の台頭により従来の地中海ルートが遮断され、ヨーロッパ諸国がアジアへの新航路を開拓したこと。	15世紀から16世紀にかけて、地中海の制海権をオスマン帝国が握ったことで、ヨーロッパ諸国は直接香辛料を手に入れるための海路を模索しました（大航海時代）。この新航路開拓の結果、ポルトガルやスペインがインドや東南アジアを経て東アジアに到達し、日本との南蛮貿易が成立しました。産業革命やアメリカの影響は18世紀以降の出来事であり、時代背景が異なります。
問2	答え 4 ローマ教皇がサン・ピエトロ大聖堂の改築費用を集めるために免罪符（贖宥状）を販売したこと	当時のローマ教皇は、聖堂の改築資金を調達するために「購入すれば罪が許される」と称して免罪符を売り出しました。これに対し、ドイツのルターが「九十五か条の論題」を発表して教会の姿勢を批判したことが、宗教改革の始まりとなりました。ルターは、人は免罪符の購入などの行為ではなく、信仰によってのみ救われると主張し、信仰のよりどころを聖書に求めました。
問3	答え 2 ルネサンス ―― 香辛料	中世から近世にかけてのヨーロッパでは、人間中心の文化を復興させようとするルネサンスが起こり、天文学や羅針盤の改良といった科学技術の進歩をもたらしました。これが大航海を可能にする技術的基盤となりました。また、経済的な目的として、食生活において肉の保存や臭み消しに欠かせなかったアジア産の香辛料を求めたことが、新航路開拓の大きな動機となりました。
問4	答え 3 文禄・慶長の役	天下統一を遂げた豊臣秀吉は、さらなる領土拡大と権威の誇示を狙い、大陸にある明の征服を計画しました。1592年の文禄の役と1597年の慶長の役を合わせて、文禄・慶長の役（朝鮮出兵）と呼びます。この出兵は秀吉の病死によって全軍撤退となり、豊臣政権が弱体化する一因となりました。
問5	答え 1 楽市・楽座	織田信長は、中世以来の特権団体であった「座」を廃止し、誰もが自由に市場で商売を行えるようにする「楽市・楽座」を実施しました。これにより、城下町に商人を集めて経済的な繁栄を図り、天下統一のための基盤を整えました。「株仲間解散」は江戸時代後期の水野忠邦、「太閤検地」は豊臣秀吉、「守護・地頭の設置」は源頼朝による施策です。
問6	答え 1 豊臣秀吉	織田信長の後を継いで全国統一を達成した人物です。大坂城を築いて政治の拠点とし、太閤検地や刀狩を通じて武士と農民の身分を明確に分ける「兵農分離」を推し進め、近世社会の基礎を築きました。
問7	答え 4 鉄砲や火薬の原料となる硝石を輸入し、軍事力を強化するため	当時の戦国大名にとって、合戦の形式を一変させた鉄砲やその原料を入手することは死活問題でした。ポルトガルやスペインの商人はキリスト教の布教と貿易をセットで行っていたため、大名たちは貿易の利益や武器の調達を目的に、領内での布教活動を認めたり、自らキリスト教徒（キリシタン大名）になったりしました。
問8	答え 4 石高	豊臣秀吉は、全国の土地の広さや質を調査し、そこから得られる米の予想収穫量を「石高」として登録しました。これにより、全国一律の基準で土地の価値が決められ、農民に課す年貢や、大名に課す軍役（兵を出す義務）などの負担が明確化されました。また、この統一的な基準は、秀吉が瀬戸内海の島々の領主に与えた朱印状などの文書でも用いられ、中央集権的な支配の基礎となりました。
問9	答え 4 キリスト教が広まることで日本人が団結し、一向一揆のような反乱が起きることを恐れたが、同時に西洋の優れた武器や物資を入手し続けたかったから。	秀吉は、キリスト教徒が強固に団結することが天下統一後の支配の脅威になると考え、宣教師の国外追放を断行しました。しかし、当時は火縄銃の原料となる硝石や、中国産の生糸といった戦略的に重要な物資を南蛮貿易に頼っていたため、貿易の利益を失うことを避けるために宗教活動のみを制限しようとしていました。江戸時代の「鎖国」へと繋がる、キリスト教政策の初期段階の対応です。
問10	答え 4 墾田永年私財法	743年に発令されたこの法律は、自ら切り開いた土地（墾田）を永久に私有することを認めました。これにより、それまでの「公地公民」の原則が崩れ、貴族や寺社が広大な私有地である荘園を形成するきっかけとなりました。
問11	答え 4 桃山文化	信長・秀吉の時代（安土桃山時代）に花開いた文化は、城郭建築や金箔を多用した障壁画に象徴されるように、権力者の勢威を反映した豪華で力強い性質を持っています。江戸時代中期の元禄文化や後期の化政文化、室町時代の東山文化とは時代背景が異なります。
問12	答え 1 第15代将軍の足利義昭を京都から追放した	織田信長は当初、足利義昭を第15代将軍として擁立することで京都に入りましたが、次第に実権をめぐって対立しました。1573年に信長が義昭を京都から追放したことにより、約240年続いた室町幕府は事実上滅亡しました。他の選択肢にある九州平定やキリスト教への対策は豊臣秀吉、参勤交代は江戸幕府の徳川家光による政策です。
問13	答え 2 石高（こくだか）制	秀吉は全国でバラバラだった「升」の大きさを統一したうえで、土地の面積に等級（生産力）を掛け合わせて、その土地でどれだけの米が収穫できるかを見積もる「石高」という単位を導入しました。この石高によって、農民が納めるべき年貢の量や、大名が負担すべき軍役（軍事的な動員数）の基準が明確になりました。
問14	答え 2 ポルトガル	1543年に種子島へ漂着し、日本に鉄砲を伝えたのはポルトガル人です。この鉄砲はまたたく間に国内の鍛冶職人によって複製され、戦国時代の戦い方を大きく変えました。選択肢のスペインは1549年のキリスト教伝来、オランダは江戸時代の出島での貿易に関連する国であり、鉄砲伝来の当事者ではありません。
問15	答え 3 太閤検地	豊臣秀吉は「刀狩」で農民の軍事力を奪うと同時に、「太閤検地」によって全国の土地の生産力を石高（米の収穫量）で表し、年貢を納める責任者を明確に定めました。これにより、それまで曖昧だった土地持ち主の関係が整理され、農民は農村に、武士は城下町に住むという兵農分離が完成に近づきました。楽市・楽座は織田信長らが進めた商業政策であり、土地調査とは異なります。